

[2017]九州大学情報統括本部年報 : 2017年度

<https://hdl.handle.net/2324/2203028>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2017, pp.1-, 2018-10-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第17章 ISMS 運用事業

17.1 情報統括本部における ISMS の継続的な運用

(1) 平成 29 年度に計画した ISMS のイベントについて、次のように実施した。

(ア) 内部監査員養成研修の実施

内部監査員養成研修を実施し、新たに 2 名が内部監査員有資格者として追加された。
なお、ISMS の普及促進の一環として、監査室の職員 3 名、九州大学病院の職員 1 名も対象として同研修を実施している。（開催日：平成 29 年 8 月 28 日）

(イ) 全体説明会の実施

ISMS 適用範囲構成員に対し、ISMS マニュアルを中心とした ISMS 関連文書の変更点について説明を行った。（開催日：平成 29 年 8 月 22 日、8 月 31 日）

(ウ) リスクアセスメントの実施

リスクアセスメントを実施し、情報資産一覧表、情報サービス一覧、情報サービス間連携状況一覧、情報資産価値評価一覧表の更新を行った。その結果に基づき、情報資産リスク識別表を作成し、情報セキュリティリスク受容基準値を超えた情報資産を特定した。

(エ) リスク対応計画策定

リスクアセスメントの結果を受け、情報セキュリティリスク受容基準値を超えた情報資産 2 件について、関係事業室でリスク対応計画を策定した。

(オ) 内部監査の実施

事業室ごとに、内部監査員による監査を実施した。

(2) 課題の継続的な検討、改善

(ア) 課題の進捗状況

第三者認証機関による継続審査、内部監査、マネジメントレビューでの指摘事項や課題について、継続して検討を行い、112 課題（平成 28 年度からの継続課題を含む。）のうち 89 課題の解決策を策定し実施した。

(3) ISMS 文書見直し

以下の ISMS 文書の見直しを実施した。

- ・ ISMS マニュアル
- ・ 組織のセキュリティに関する規程
- ・ 適用宣言書
- ・ 情報の分類、媒体の扱い及び情報の転送に関する規程・規範
- ・ アクセス制御に関する規程・規範

（４）第三者認証機関による再認証審査

平成 30 年 1 月に第三者認証機関による更新審査を受審し、認証登録が更新された。受審の結果、軽微な不適合事項が 1 件、Good Point が 4 件、改善の機会（推奨事項）が 12 件あげられた。

17.2 九州大学内での ISMS の普及促進

（１）内部監査員養成研修

監査室の職員 3 名及び、九州大学病院の職員 1 名に対し内部監査員養成研修を実施した。

（２）ISMS 導入に向けた支援

以下の部局に対して ISMS 導入に向けた支援を行った。

- ・学務部
- ・財務部
- ・人事企画部
- ・ラーニングアナリティクスセンター

17.3 情報セキュリティ対策基本計画について

情報セキュリティ対策基本計画のうち、「情報セキュリティ対策に係る自己点検・監査の実施」について、ISMS 運用事業室において取り組んでいる。

（１）情報セキュリティ対策の自己点検

情報統括本部及び事務局において情報セキュリティに係る自己点検を行った。（平成 29 年 7 月 10 日～21 日）また、結果について、CIO、CISO 及び情報統括本部長に報告を行った。

（２）情報セキュリティ監査

財務部、人事企画部及び九州大学病院において、情報セキュリティ監査を実施した。

（３）事務局への ISMS 導入に向けた試行

（ア）学務部

ISMS 運用スケジュールに従い、全体説明会、リスクアセスメント及び内部監査を行った。

（イ）財務部及び人事企画部

ISMS 導入に向けた試行対象の決定、初任者講習及びリスクアセスメントを実施した。